

事務事業名	公共交通ネットワーク整備事業			担当	総務部 企画課 企画調整係			
政策名	A 暮らしやすが実感できるまちづくり			電話番号	0285 - 83 - 8102			
施策名	5 公共交通ネットワークの整備			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業				
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 真岡市地域福祉計画			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成21 年度～）			
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1総務管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	<p>平成22年に策定した「真岡市地域公共交通総合連携計画」に基づき、公共交通ネットワークの整備を推進する。            真岡市地域公共交通活性化協議会は市長が会長となり、委員は法律に基づいた者（交通事業者、道路管理者等）のほか、公募委員などの25名で構成され、計画に基づいた実証運行の評価・改善を図る。            平成23年度からデマンドタクシー、24年度からコミュニティバスの実証運行を開始し、事後評価を行い、26年度からの本格運行を開始した。            平成28年2月には、市域を超える広域的な移動需要への対応を踏まえ、持続可能な公共交通ネットワークの再構築を図るため、連携計画を見直し、「真岡市地域公共交通網形成計画」を策定した。</p>							

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共交通ネットワークの整備に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共交通機関は市民生活やまちづくりに不可欠な基盤であり、市が行う業務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 公共交通の主な利用者は市民であり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 利用者の増加に向けて、問題点を改善し、成果を向上させていく。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 公共交通ネットワークの整備が図られない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 運行を行うための最少の経費である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最低限の人員で事業を推進しており、人件費の削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 適切に料金設定をしている。

## 3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し ( <input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？ 1日当たりの利用人数が目標（いちごタクシー75人、コットベリー号65人）に達していない状況であるため、市民や利用者のニーズに応じた、運行内容等の簡易な見直しを隨時行う。 平成31年春に開院予定の芳賀赤十字病院の移転新築を見据え、運行内容の抜本的な見直しを行い、公共交通の利用促進を図る。		

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		